



みくにだより

『時計』のはなし

園長 細井 典子

みくに学園には様々なタイプの時計があります。各教室には長針と短針のある数字のはっきり明示された時計が設置されています。その目的は『時』が私たちの生活の中で深くかかわっていることを知らせるためです。例えば「時計の長い針が6になるまでに用意しましょう」とか「今日の給食は8までに食べ終えるのが目標ですよ」と先生が伝えることで「時計」を意識しながら生活していくようになります。

年少のじゅん君は廊下にある茶色の時計が気になって仕方ありません。「あの茶色の窓から何かが出てくるんだよなあ」と『茶色』の時計の前でつぶやいています。何日か前のことです。じゅん君がいつものように「何が入っているのだろう？」「あれは開くのかな？」と思って茶色の時計を見上げていると、年長のけい君が通りかかりました。「じゅん君、何見てるの？えー時計のことか。あそこから白い鳥が出てきて鳴くんだよ！」と言って走って行ってしまいました。次に年中のゆう子ちゃんが来て「10時になったら鳴くんだよ」と教えてくれました。『白い鳥と10時か…』じゅん君はますます本物が見たくなりました。

「先生！じゅん君はずっと廊下に来て、まだトイレに行っていないよ」「じゅん君、だめじゃない。どうしてトイレに行かないの。早く行ってきてちょうだい」「だって……」とにかく、今日こそ絶対に茶色の時計から何が出てくるのか見るんだから。紫バッジのけい君は白い鳥が出てくるって言ってたなあ。黄色バッジのゆう子ちゃんは10時って言ってたなあ。どうしたら扉が開くんだろう？？？他の友だちは全員トイレに行って教室へ戻りました。じゅん君だけ、廊下の茶色の時計の下で立って、時計を見上げています。白い鳥ってどんな形しているのかなあ。『早く！出てこないかなあ』そこへ先生がじゅん君を探しに来ました。「じゅん君、何しているの？」その時です。「あっ！出た！」「ポッポー、ポッポー、ポッポー」茶色の扉が開いて、白い鳥が鳴いたのです。「パタン！」扉はあっという間にしまっていました。いつもの茶色の時計がコチコチと時を刻んでいます。「鳩が出てきたところが見られて良かったね、じゅん君！」と先生が言うと「先生、鳩の口は赤だったよ！」とじゅん君は満足そうに言いました。

以前6月の「時の記念日」になると年長全員で、近くの時計屋さんへ見学に行っていました。丸い形、四角い形、長丸の形、ドラえもんが目覚まし時計、ミッキー時計……魅力的な時計がたくさん並んでいます。あの時計は、どんな音がするのかしら？「オーイ！朝だから起きなさい！」とおしゃべりする時計もありましたよ。今度、御家族でお買い物の際に、時計売り場で「時計のはなし」などしてみてもいいかな？

『こども110番について』

この「こども110番」のマークを見たことがありますか？みくに学園の門にも貼ってあります。もうすぐ年長の皆さんは、一人で歩いて通学することになります。もしも、学校へ行く途中や帰る途中で困ったことがあったら、「こども110番」の家や建物へ「助けてください！」と言って、駆け込んでください。いつでも、あなたを助けてくれますよ。毎年、進学間近のこの時期に「こども110番」の話をしています。あなたは通園途中の道のりで「こども110番」のマークをいくつ見つけられますか？お家の方と一緒に通学路も歩いて、このマークを見つけてみてください。



先日の学級閉鎖にご協力いただきましてありがとうございました。

さて、本日2日分の参観日指導案を配付しますが、
どちらか一日ご都合の良い日に参観してください。